



広報 ごじょうめ

発行／五城目町役場

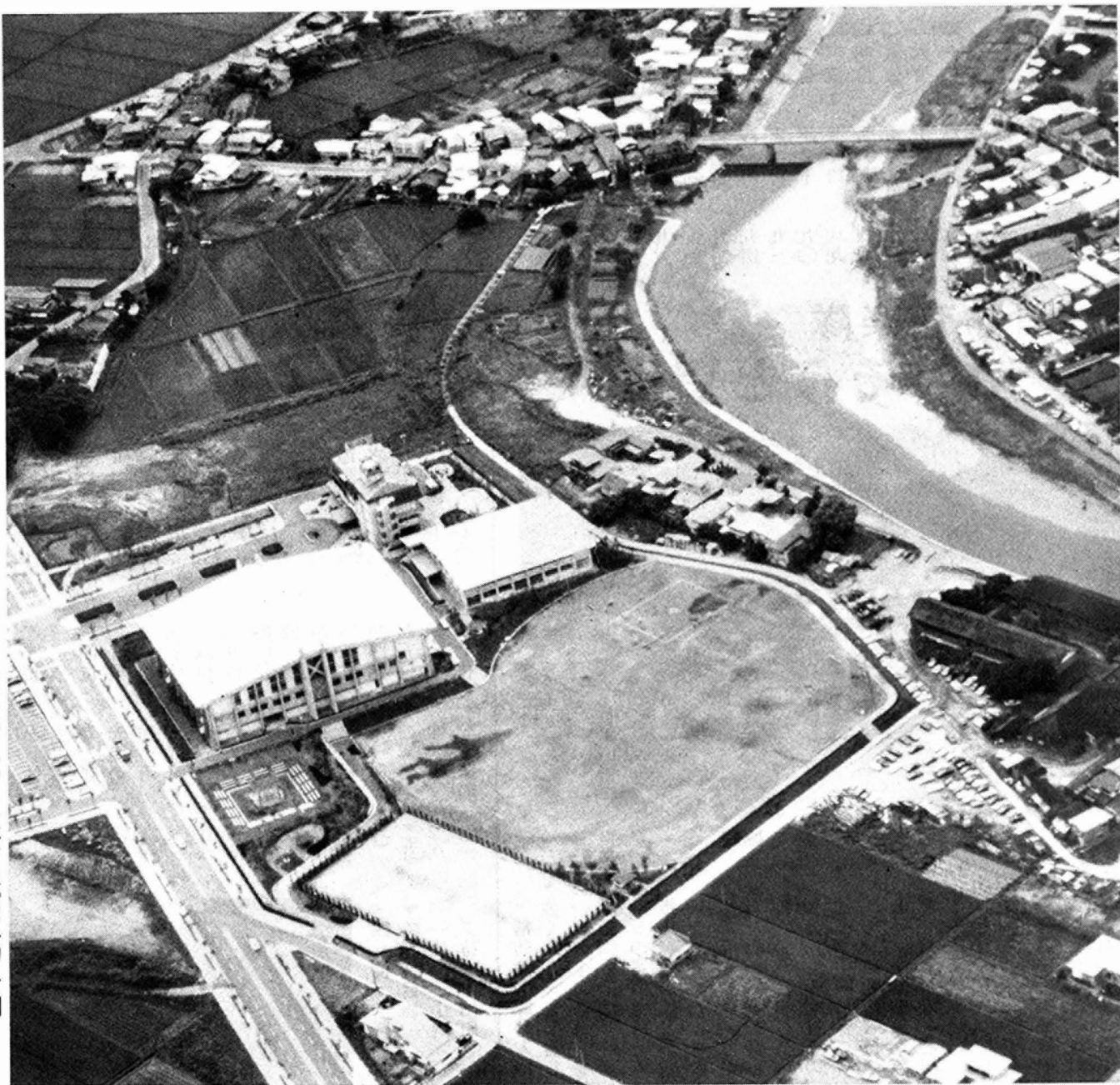
編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100 (代) 印刷／五城目印刷

燃えるゴミ
燃えないゴミ
分別は完全に



(広報紙中にある写真欲しい方には
おあげします)

県内有数の施設が建ち並ぶ雀館運動公園



雀館運動公園

馬場目川と雀館公園にはさまれた区域一帯は、社会体育、社会教育の施設が整備されており、雀館運動公園として、本町の文化、スポーツの中心的役割を果たしています。

フロアーの面積が秋田市の県立体育館より広い広域体育館、日本水泳連盟公認の二五メートルコースを備えた屋内温水プール、会議、宿泊研修、そして結婚式場と多目的に使用できる町民センターなど、県内でも有数の施設です。このほか、テニスコート、相撲場、運動広場、それに雀館公園には弓道場と日本庭園があります。

これらの施設を利用する人は年間二十四万人を超え、プールや体育館の場合は、利用者の二割以上が町外の人となっています。

昭和59年

10月1日

(毎月1日・15日発行)

No. 501

ふるさと散歩

青空のもと体育祭を楽しむ 優勝旗は畑町町内会へ

第十六回全町体育祭は、九月九日に予定されていましたが、雨のため延期になり、敬老の日の十五日、五城目小学校グラウンドで、町内会から四十八チームが参加して開かれました。心配された雨雲も、時間がたつにつれて青空に変わり、スポーツの秋にふさわしい天気になりました。汗ばむくらいの日差しの中、選手も応援団も二年に一度の体育祭を楽しみました。

参加チームの入場行進は、五城目町消防音楽隊のマーチ

などの特別種目では下山内が優勝、準優勝は上田町。

参加全チームの成績は次のとおり。(数字は合計得点、同点の場合は上位入賞数で判定)

二四位	西野	七六
二五位	築地町	七四
二六位	岡本二区	七三
二七位	野田	七三
二八位	大川三区	七二
二九位	谷地中	七〇

三〇位	高崎	六八
三一〇位	岡本一区	六八
三二〇位	石崎	六七
三三〇位	上田町	六七
三四〇位	寺庭	六四
三五〇位	矢場崎	六二
三六〇位	館町	六一
三七〇位	米沢町	六一
三八〇位	昭辰町	五八
三九〇位	希望ヶ丘	五四
四〇〇位	今町	五二
四一〇位	下高崎	五〇
四二〇位	雀館	四五
四三〇位	一番町	四〇
四四〇位	久保	三二
四五〇位	長町	二九
四六〇位	仲町	二八
四七〇位	紀久栄町	二一

四位	新町	六
一位	下山内	
二位	上田町	

三位	上山内
四位	浅見内
五位	富田
六位	黒土

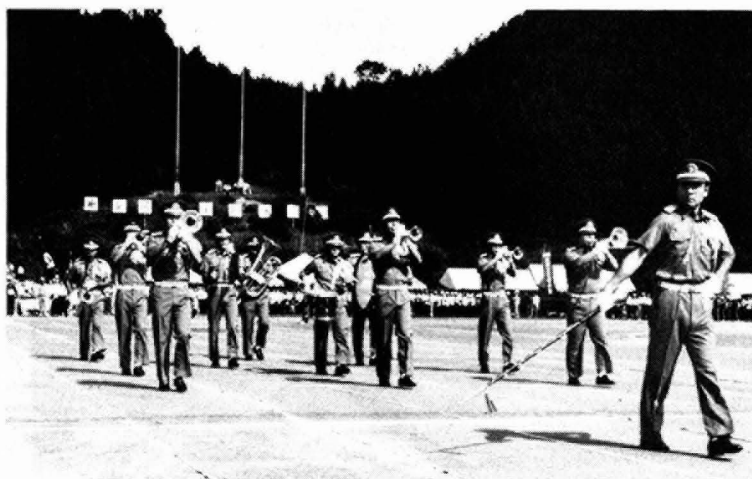


町長から優勝旗を受ける畑町町内会

競技は男子の三〇メートル競走から始まり、各町内の応援合戦のもと、代表選手たちは十三種目に熱戦を展開しました。

優勝	畑町	一一三
準優勝	古川町	一〇九
三位	上山内	一〇二
四位	岩野	一〇二
五位	富田	一〇一
六位	下山内	九八
七位	館越	九五
八位	町村	九四
九位	蓬内台	九四
一〇位	浅見内	九四
一一位	田町	九三
一二位	平ノ下	九〇
一三位	北々口	八九
一四位	帝釈寺	八八
一五位	東磯ノ目町	八八
一六位	黒土	八七
一七位	湯ノ又	八五
一八位	中村	八四
一九位	上高崎	八三
二〇位	落合	八一
二一位	高千	七八
二二位	脇乙	七七
二三位	新畑町	七七

消防音楽隊 さっそうと登場



息のあった演奏を披露

消防音楽隊が入場行進で力強くマーチを演奏し、二年に一度の全町体育祭を盛り上げてくれました。

隊員の非番を返上してのひたむきな努力と、高野氏の熱心な指導によって、めきめきと上達し、体育祭での披露となったものです。

この音楽隊は今年の五月、厳正なる規律と消防職員の士気を高めるとともに連帯感を深めるため結成されました。六月から練習を始めて約四カ月、今回の体育祭が町内のみなさんへの初披露の場となりました。

音楽隊は今後も練習を重ね、技術の向上に努めるとともに、レパートリーを広げ、いろいろな行事に参加することになっています。音楽隊の編成は次のとおりです。

隊員は消防署員の十二人。全員が楽器を扱うのは初めてで、鳴らし方など初歩的なことから練習を始めました。指導にあたったのは、消防団のラッパ隊を育てた陸上自衛隊秋田駐屯部隊の高野隊長。高野氏は週に一度は秋田市からかけつけてくれ、隊員一人ひとりに基本から教えてくれ

▽指揮Ⅱ金野鉄男ⅢトランペットⅡ伊藤隆、伊藤満、佐々木重義ⅣトロンボーンⅡ大石憲一、長谷川誠ⅤアルトサクソⅡ金子久孝ⅥテナーサクソⅡ斉藤金英ⅦスーザホンⅡ佐藤与志美ⅧバスドラムⅡ渡辺博直ⅨサイドドラムⅡ小玉康一郎ⅩシンバルⅡ伊藤忠泰

シルバーバンク

高齢者に生きがいを 申し込みは電話で

六十歳以上の高齢者に働く喜びと生きがいを持っていたくため発足したシルバーバンク事業（老人人材銀行）は、町内のみなさんのご理解とご協力により作業依頼件数も次第に増え、今年四月から八月末までの就労人員は、延べ八百七十一人となっています。シルバーバンクは、働きたくても働く場のない「会社などを退職された人」に、自分の技術や労働力を生かし積極的に社会に参加してもらい、それを通じて相互の仲間づくりや健康維持、そして生きがいを見いだしていただく事業です。この主旨に賛同され、シルバーバンクで働いてみたいと思う人は、遠慮なく申し込んでください。

また、シルバーバンクを利用してしている町内のみなさんや官公署、各種団体はもちろん、

これから利用しようとする人も気軽に申し込んでください。シルバーバンクの作業内容は次のとおりです。

作業開始時間は午前八時、作業時間は原則として四時間（半日）ですが、作業を依頼する人の要請があれば、時間延長の相談にも応じます。

謝礼金（働いた人に支払う手当）は、職種により次のように決められています。

（一時間当たり）

・大工・障子張り 六百元

・家具・建具 五百五十円

・整地作業 四百五十円

・草取り・清掃作業 四百円

以上のほかマキ切り、家事手伝い、留守番、雪囲い、畑作業なども四百円となっています。

ただし、重労働や危険な作業は行いませんし、特殊な作業の謝礼金は、その都度決められます。

また、作業要請者と作業従

事者との間に雇用関係はなく、作業従事者についての責任は、シルバーバンクが持つことになっていきます。

そろそろ冬支度の時期になります。シルバーバンクで働いてみたい人、シルバーバンクに作業をお願いしたい人は、社会福祉協議会内のシルバーバンク事務所（電話52121001役場代表番号）に電話で申し込んでください。

10月18日から
赤い羽根



やさしさを隣人に

「赤い羽根」で親しまれている国民助け合いの共同募金、今年も十月一日から全国一斉に行われます。

助け合いの心…お互いに困ったときは助け合い、住みよい地域社会をつくる活動に一緒に参加しよう！という一人ひとりのやさしさを行動で表

す。もし、違反者がこれに従わない場合は、文書で勧告することになっています。

稲わらスモッグが発生しますと、目やのどが痛くなるだけでなく、交通事故の原因にもなりかねません。生活環境を守るため、また稲わらを有効的に利用するためにも稲わらを焼却しないでください。

また、パトロール車による指導監視を行い、稲わらなどを焼却している人に対して、焼却をやめるように指示しま

わすことが、赤い羽根共同募金です。

昨年は町内のみなさんのご協力と関係者のお力添えにより、町内で二百三十五万円の寄付金が集まりました。この寄付金は県共同募金会を通じて、民間社会福祉施設や社会福祉協議会などの団体に配分され、福祉の増進に役立てられました。

今年度の町の目標額は、二百六十七万五千円で、一世帯七百円以上を目安として募金活動が行われます。

五城目町共同募金会では、一人でも多くの人たちの幸せを築くため、町内のみなさんの温かいお志をお願いしています。期間中、婦人会奉仕団や町内会が募金活動を行うことになっておりますので、ご協力をお願いします。

長野県西部地震の 救援金は社協まで

日本赤十字社秋田県支部では、九月十四日発生した長野県西部地震の被災者救援のため、県内のみなさんからの救援金を受け付けています。

この地震の惨状は、テレビや新聞などで報道されましたが、極めて多大の被害を受けました。

町内のみなさんからの救援金は、社会福祉協議会内の五城目分区分事務局で受け付けますので、同事務局までお届けくださるようお願いいたします。

歯の健康シリーズ

No.13

かみ合わせの異常



歯ならびの美しさは、歯の健康を保つためにも大切な要素です。歯ならびの悪いことを「不正咬合」といいますが、私たちの三〇パーセントは、この不正咬合だといわれています。

歯ならびが悪いと食べかすがたまりやすく、むし菌や歯肉の病気の原因になります。食べ物の消化がよくできないため、体の発育にも悪い影響をあたえます。

歯ならびを悪くさせる原因

因

遺伝の場合もありますが、私たちの日ごろの注意で予防できる原因も多いのです。乳歯のとき、むし菌があ

り、永久歯への生えかわりがうまくできなかった場合、子供のときのクセで、指を吸ったり、くちびるをかんだり、ほおづえをしたりするクセがある場合、ホ乳ビンの乳首が固すぎたり、長すぎたりすることなどです。

歯ならびを正しくなす「歯列矯正」は、幼い時ほど簡単です。矯正治療によってかみ合わせが正しくなり、あごの形も整って美しい表情になります。歯医者さんに相談して早めになおしましょう。

五城目町親と子の健康な歯づくり運動推進委員会 養護部会

カメラレポート



献穀の粟を収穫

— 佐川さんの畑で —

天皇陛下に献上する粟（あわ）の収穫が、8月30日、佐川俊雄さん（野田）の畑で行われました。

これは、新嘗祭（にいなめさい）献穀粟として、6月に神事を行って2アールの畑に定植したものです。手刈りされた粟は精選され、5合を11月23日の新嘗祭に献上することになっています。



収穫を迎えた粟の畑



曙町町内に新築された共済組合の事務所

共済組合、新事務所で業務

— 役場内の支所は移転 —

湖東部農業共済組合の事務所が曙町町内に新築され、9月5日、同組合の五城目支所は役場庁舎内からこの新事務所に移転しました。

湖東部農業共済組合は、昭和56年に五城目、八郎潟、井川、昭和の四組合が合併して発足し、事務所は昭和町旧消防署を利用していました。

新事務所は、鉄骨平屋建て、敷地面積 1965 平方メートル、建築面積466 平方メートル、工事費 5450 万円。所在地は大川下樋口字古川敷 1-1、電話は75-3323。

お知らせ

行政相談所の開設

無料、秘密を守ります

十月十四日から始まる行政相談週間にちなんで、相談所が開設されますので、利用してください。相談は無料です。相談者の秘密も守られます。

▽開設日時

十月十七日（水）

午前九時～午後四時

▽開設場所

五城目町商工会館（二階）

▽相談担当者

長谷川豊（行政相談委員）

電話 52-2238

▽相談内容

交通安全、公害、登記、国有財産、税金、生活保護、年金、保険、恩給、公衆衛生、農地、土地改良、消費者保護、郵便、労災保険、道路、河川、公営住宅、許可、国鉄、電話、専売等。

危険物取扱者試験講習会

申し込み 六日までに

今年度二回目の危険物取扱者試験が、一月上旬に予定されており、このための講習会



国際文通週間
10月6日～12日

が開かれます。

受講申し込み用紙は消防署にあります。詳しいことは消防署（電話 52-2028）にお問い合わせください。

▽期日

乙種四類 十一月七日、八日（二日間）

▽会場

秋田市文化会館

秋田市山王七丁目

▽申し込み期間

十月一日～六日（消印有効）

無料法律相談を開催

9日～11日、秋田市で

秋田県司法書士会秋田支部では、無料法律相談を開催し、裁判、登記、相続、供託、不動産などの法律関係について相談に応じます。詳細は同支部（電話 64-1090）へお問い合わせください。

▽開催日時

十月九日～十一日

午前十時～午後四時

▽会場

秋田駅前・ジャスコ

国体出場者は連絡を

10月5日に壮行会

公民館では、第三十九回奈良国民体育大会秋季大会（若草国体）に出場する町内選手の出場を、十月五日午後七時から広域体育館で行います。同国体に出場する選手は、十月四日までに公民館（電話 52-14411）に電話で連絡してください。

講師に現場の警察官

中川原で交通安全教室

中川原町内会では、9月14日午後7時から中川原集会所で、五城目警察署の柏原交通係長に講師をお願いして、交通安全講習会を開きました。

これは、9月21日から秋の全国交通安全運動が始まることから、悲惨な交通事故にあわないように、また、おこさないように、みんなで交通安全を考えようというものです。

柏原係長は、今回の運動の重点目標になっている「シートベルトの着用」「飲酒運転の追放」などについて、交通指導の現場をもとに説明しました。



五城目署の柏原係長（中央）を講師に開かれました



スライドを使って説明する片山教授

“健康な歯づくり”を講演

第21回 教育振興大会

第21回五城目町教育振興大会が、9月14日、午後1時から町民センターで小・中学校の先生など約250人が参加し開催されました。

第5回月例文化経済懇話会を兼ねたこの大会では、岩手医科大学歯学部教授の片山剛氏が“健康な歯づくり”と題して講演を行いました。

本町では昨年、むし歯予防啓発推進地域の指定を受け、現在、五城目町親と子の健康な歯づくり運動推進委員会を中心に、町ぐるみでむし歯予防に取り組んでいます。参加したみなさんは、最新の情報を吸収しようと熱心に耳をかたむけていました。

お知らせ

技能検定 建築大工など34職種

昭和五十九年度後期技能検定（国家検定）が行われます。主な内容は次のとおりですが、詳しいことは、県職業訓練課（電話60-1733）か県職業能力開発協会（電話62-3510）へおたずねください。

▽受検申請受付

十月四日から十七日まで県職業能力開発協会、または技能センターで受け付けます。申請書は受付場所あるいは県職業訓練課で交付します。

▽検定職種

建築大工、機械製メン、バルコニー施工など三十四職種。

▽実技・学科試験

昭和五十九年十二月一日から六十年二月二十五日までの指定された日。

▽検定等級

一級、二級および単一等級があり、それぞれに受検資格が必要です。

84あきた機械工業展

県内の製品を展示

“84あきた機械工業展”が、県と（社）秋田県機械金属工業会の主催で開催されます。

この工業展は、県内の機械金属工業の製品を一堂に展示するもので、県内では初の試みです。会場には、展示コーナー、紹介コーナーのほか受

発注相談コーナーも設けられます。

▽会場

秋田県工業技術センター

電話62-3414

秋田県総合職業訓練センター

電話24-2548

▽会期

十月十八日～二十一日

▽併催・協賛事業

・メカトロ展

・技術セミナー（講習会とシンポジウム）

日時：十月十九日

午後一時～五時

会場：県工業技術センター

・受注懇談会

期日：十月十八日～十九日

事務局の電話番号

電話60-11914

国民健康保険杯

ゲートボールを開催

第一回五城目町国民健康保険杯全町ゲートボール大会が、十月二十日午前九時から、雀館運動公園運動広場で開かれます。

この大会には、町内に住んでいる人であれば年齢、性別に関係なく参加できます。ただし、各町内会から一チーム八人。

参加者は、当日、ステック、ゼッケン、昼食の準備が必要です。

参加を希望するチームは、所定の申し込み書を十月十一日までに役場保健衛生課へ提出してください。

表彰

杉沢小緑の少年団 活動発表で理事長賞

杉沢小学校の緑の少年団は、昭和五十九年度県緑の少年団交流集会で活動発表を行い、県緑化推進委員会理事長賞を受賞しました。

この交流会は、二泊三日の日程でこのほど大館市の県立大館少年自然の家で、県と県教育委員会、県緑化推進委員会の主催で開かれ、全県の緑の少年団員など約百七十人が参加しました。

杉沢小学校の緑の少年団は、自然愛護と郷土愛を育てることなどを目的として、昭和五十四年に結成され、現在の団員数は三十二人。団員を代表して団長の石川悦広さんが、

団結の目的、日ごろの活動内容やこれからの計画などを発表しました。

同少年団は、昨年は県教育長賞、一昨年は県緑化推進委員会理事長賞を受賞しており、三年連続の受賞です。

県の記念日記念作文 優秀賞に五小から二人

五城目小学校の千葉洋美さん（三年生）と桜田瑞子さん（六年生）の作文が、県の記念日記念作文で優秀賞に輝きました。

これは、県が八月二十九日の県の記念日にあたり、全県



千葉洋美



桜田瑞子

の小学生から郷土を題材にした作文を募集したもので、百五十編の応募作品の中から、最優秀賞二編、優秀賞四編、佳作二十編が選ばれました。千葉さんの作品「せり作りの町おぐら」は、自分が住んでいる町内の人たちがせり作りに取り組んでいることを取り上げ、父親たちの苦労や栽培が軌道に乗るまでの様子を描いています。

また、桜田さんの作品「五城目の市」は、母親の姿を通して朝市をしっかりとみつめ、にぎわいの様子、人々の交流などを巧みに紹介しています。

「体育の日」に スポーツ大会

「体育の日」スポーツ大会が、十月七日、十日、雀館運動公園の各施設で開かれます。

内容はゲートボールやテニスなど七種目で、十日午前九時半から午後四時まで広域体育館で行われる体力テストには、だれでも自由に参加できます。

また、「体育の日」の十日は、広域体育館と温水プール

プールと体育館を 無料開放します

スポーツ大会の種目、開催日、会場は次のとおりです。なお、七日は午前九時競技開始、十日は午前九時から開会式、午前九時半競技開始。

- ・地区対抗ゲートボール大会
7日・運動広場
- ・ミニバスケットボール大会
7日・広域体育館
- ・全町テニス大会
7日・10日・テニスコート
- ・全町あるこう会
10日・広域体育館前（出発）
- ・学童野球大会
10日・運動広場
- ・全町弓道大会
10日・弓道場
- ・体力テスト
10日・広域体育館

我が村の落書

(29)

畠山 鶴松

明治大正当時の
魚類の貯蔵と使い方について

当時は長く貯蔵しておく塩漬のようなものがないと大変な不自由をしたものである。ハタハタ、イシジャ、ニシン、その他ワカサギ、ゴリ、エビの飯漬のような市日から市日まで食うものと、季節的にあがるものは、貯蔵し長持ちするようにしたものだ。

今のように魚売は相手にならないから、塩漬にして食べながら、季節に出る魚を待つものであった。その頃になると男鹿方面から、自路（前後の左右の足を同時にこぶ歩き方）の上手な足の早い道産子馬に左右二籠（一籠にハタハタが二斗くらい入る大きさ）の魚籠を付け、ハタハタ時やイワシ時に大声で叫んで何人も来るものであった。

その頃は道路も悪く、自動車も馬車も通れないから、ハタハタが帯貨し、船川、脇本、出戸浜へ個人で買いに行くと、生きた腹身子を選びしだい、それに量も枴に盛りあげ大変に得だといわれた。俺れの兄は、朝二時頃起きて現場に行くと、お客さんだと言って大釜へあがりたてのハタハタを沢山煮て食い放題、お客さんをさがさないようにと、もてなしたそう。

下山内から脇本まで
個人で買いに行くと
帰るころ



ワラの手袋（テキャシ）

馬を追う



道産子馬

雪はらい



自路の練習

道産子馬

狂犬病の予防注射 犬をつれて来てください

犬の登録と狂犬病の予防注射が、十月八日から町内の主な場所で行われます。飼主は指定された場所に犬をつれて行き、予防注射や登録を済ませてください。指定された場所には、出張料がかかります。

予防注射などの料金と町内巡回の日程は次のとおりです。愛犬手帳を持っている方は、持参してください。

(料金)
登録料 二百四十円
注射料 三百六十円
注射済票交付料 三百六十円
指定日時、場所以外の出張料 千円(一頭につき)

(日程)(数字は時・分)
10月8日(月)
農協大川支所前 午前9・30～9・50
石崎加藤商店前 午前10・10～10・20

ねんきん 通信

制度の理解を
現在、わが国は二十一世紀に向かって、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進んでいます。このため、二十一世紀の高齢化社会を乗り切るため、年金の改革案も提出さ

谷地中公民館前	午前10・40～11・00	高田小玉商店前	午後2・50～3・00
中川原猿田牛乳店前	午前11・20～11・40	落合畠山豊宅前	午前9・30～9・50
馬川公民館前	午後1・30～1・50	北村伊藤俊治郎宅前	午前10・10～10・30
館越バス停前	午後2・10～2・20	高樋近江商店前	午前11・30～11・40
帝釈寺バス停前	午後2・40～3・00	台公民館前	午後1・30～1・50
10月9日(火)		富津内児童館前	午後2・10～2・30
町村・門前入口	午前9・30～9・50	上山内佐々木商店前	午後2・50～3・10
馬場目児童館前	午前10・10～10・30	10月12日(金)	
中村公民館前	午前10・50～11・10	浅見内公民館前	午前9・30～9・50
平ノ下公民館前	午前11・30～11・40	湯ノ又公民館前	午前10・10～10・30
水沢石川商店前	午後1・30～1・50	小倉公民館前	午前10・50～11・00
恋地佐々木商店前	午後2・10～2・30	下山内バス停前	午前11・20～11・40
杉沢バス停前		野田公民館前	午後1・30～1・40
		森山公民館前	午後2・50～3・00

10月と11月は 国民年金制度推進月間

れ、国民の年金に対する関心も大変高くなってきています。県や町では、町内のみならず、全国的に年金を受けられるように、国民年金の内容や仕組みを知ってもらうとともに、制度に対する理解を一層深めていただくとうと、毎年十

月と十一月を「国民年金制度推進月間」としています。主な行事として、十月二十五日の国民年金法施行二十五周年に伴う記念式典や、十一月一日から七日まで横手市で開かれる種苗交換会会場で、年金相談所を開設します。年

秋田財務部が 秋田財務事務所に

大蔵省東北財務局の「秋田財務部」は、機構改革により十月一日から「秋田財務事務所」として発足することになりました。

今回の改革により、これまでの事務の見直しが行われ、東北財務局へ事務が移るものもありますが、「国有財産の売払いまたは貸付けの事務」「金融機関の監督の融資に関する事務」は、引き続き新しい「秋田財務事務所」において行われます。

お誕生 おめでとう



浦横町	小野奈津美 7月27日	新町	正信 美津子 長女
新町	大原侑子 7月31日	新里町	成田阿斗 7月31日
畑町	伊藤大地 8月8日	岡本	加藤祐樹 8月15日
築地町	荒川翔太郎 8月16日	西磯ノ目町	半田智華子 8月17日
曙町	石井小百合 6月28日	東磯ノ目町	今野智城 7月1日
中村	佐藤知香子 7月2日	今町	石井翔子 7月4日
今町	均 弘子 長女	今町	菊地正悟 7月7日
今町	一徳 貞子 長男	下山内	大石宏之 7月8日
新町	関 允貴 7月13日	協乙	伊藤 圭 7月13日
野田	佐川 卓 7月17日	大川四区	小島紗知子 7月17日
下樋口	小林裕子 7月19日	新畑町	村上智美 7月23日
紀久栄町	敬二 浩子 長女	加賀谷悠悦 7月26日	宮腰タキ 87
龍悦 多鶴子 長男			

おくりやみ 申し上げます

浦横町	小野奈津美 7月27日	新町	正信 美津子 長女
新町	大原侑子 7月31日	新里町	成田阿斗 7月31日
畑町	伊藤大地 8月8日	岡本	加藤祐樹 8月15日
築地町	荒川翔太郎 8月16日	西磯ノ目町	半田智華子 8月17日
曙町	石井小百合 6月28日	東磯ノ目町	今野智城 7月1日
中村	佐藤知香子 7月2日	今町	石井翔子 7月4日
今町	均 弘子 長女	今町	菊地正悟 7月7日
今町	一徳 貞子 長男	下山内	大石宏之 7月8日
新町	関 允貴 7月13日	協乙	伊藤 圭 7月13日
野田	佐川 卓 7月17日	大川四区	小島紗知子 7月17日
下樋口	小林裕子 7月19日	新畑町	村上智美 7月23日
紀久栄町	敬二 浩子 長女	加賀谷悠悦 7月26日	宮腰タキ 87
龍悦 多鶴子 長男			

みんなの広場

せり作りの町おぐら

五城目小学校(三年) 千葉 洋美

わたしの住んでいる小倉は、緑の山にかこまれた、たった二十二軒ののびやかな町です。小倉では、今せり作りにいっしょうけんめいです。

毎年、げんたんめんせきがふえていくので町の人たちは、なんとかして田んぼを利用できないかと相談しました。何日も何日も話し合いました。そのけっか、あまり手のかからない大豆やそばを植えたらくないかと話がまとまりました。しかし、さむさのためいくらがなばっても、あまりしゅうかくがなかったそうです。いろいろ考えて、ほかのものを植えてみても、やっぱり成功しなかったそうです。そこで、むかしから、どここの家でも作っているせりは、どうかということになりました。二十二軒の人たちが協力してがんばり、一年に二回しゅうかくしています。

わたしは、今までせりは、自然に生えてくると思っていましたが、すぐ手のかかる植物だということが分かりました。

春に、畑に親せりを植えます。二カ月くらいたつと、親せりから、たくさんつたが出てきます。そのつたを四十

しても、たいへんひょうばんがよいそうです。それで、遠く東京方面までもおくられていくそうです。

おかあさんたちは「なんぼなんぎしても、みんなよろこんでくれれば、なんぎもふつとんでいく」と、明るい顔で話をしています。

昭和五十五年には、小倉のせり作りが、テレビや新聞にしようかいされました。また、秋田県知事さんからは、せりを秋田のとくさん物にしてくれたとひょうしょうされました。

せりが育つまでには、たいへんくろうするそうです。水のかんりが大切ですし、気温がさがってしもがかとと葉がかれて売ることができなくなります。

せり作りを始めたころは、できがわるく、一日のべんとう代にもならなかったそうです。でも、くみあいの人たちが集まって、何日も何日も話し合い研究して、じょうぶなおいしいせりを作り出したんだからすばらしいと思います。

わたしは、お父さんに「みなさんは、せりはかせだね」といいました。

です。

お父さんたちは「なんぎしただけあって、せりのできがいいな」といって、よろこびをかくしきれないような明るい顔になります。みんなが力をあわせてがんばったから作がよかったと思います。

なんといってもおいしいと言われ、じょうように出して高いねだんで売れたときが、一ばんうれしいと思います。

しずかだった小倉も、せり作りをはじめから生き生きしてきました。わたしたちが、勉強が分かった時に、かっぱつになるのと同じことだなあと思いました。

小倉には、温泉もあります。しんけいつうや、ひふ病にきくので、ほうぼうの町から、たくさんのおうじきやくがきます。

秋になると、せりのはいたキリタンポ、きのこやさんさいりょうりがありまます。なんだかせりのかおりだけがはなにはいるような気がします。自分が手つだって植えたせりだからでしょうか。

温泉に入ったあとのごちそうは、とくべつおいしいです。だから遠くからバスや車でりょこうにくる人もいます。

二十二軒の小さな町ですが、せり作りの町、温泉のある町、緑のたくさんな町、空気のおいしい町、わたしは、こんな小倉が大すきです。

第20回「県の記念日」記念作文優秀賞

毎月5日は「少年の日」



よい親は
聞いてやつたり
きかせたり



善意銀行
預託者
(敬称略)

・九月一日

三千円 五城目婦人会
(町内リサイクル運動の収益金の一部を寄付したものの)
二万円 畑町 広瀬 清
(亡娘恵様の香典返しとして)



善意
(敬称略)

▽雀館児童館へ寄贈

雑誌 二十冊

秋田銀行五城目支店

雑誌 十冊

五城目信用金庫

▽九月二十一日

町内の中学校生徒へ寄贈

鉛筆 百四十八ダース

五城目ロータリークラブ

(会長 田口誠一)

五城目ロータリークラブ

ラブ(会長 齊藤政美)